

<評価基準>

1	2	3	4
できている	まあまあできている	どちらかといえばできていない	あまりできていない

<評価表示>

◎	よくできている
○	できている
=	ほぼ同数
▲	あまりできていない
●	できていない

<集計結果>

11項目
9項目
4項目
1項目
0項目
25項目

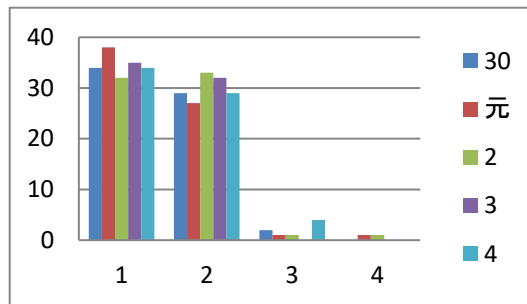
<参考>

◎	1と2の計が81~100%。ただし、1/(1+2)の割合が30%未満なら、○
○	1と2の計が61~80%
=	1と2の計が41~60%
▲	1と2の計が21~40%。ただし、3/(3+4)の割合が30%未満なら、●
●	1と2の計が 0~20%

I 公民館運営全般について

1 地域住民に公民館の目的や利用のあり方について周知に努めていますか。

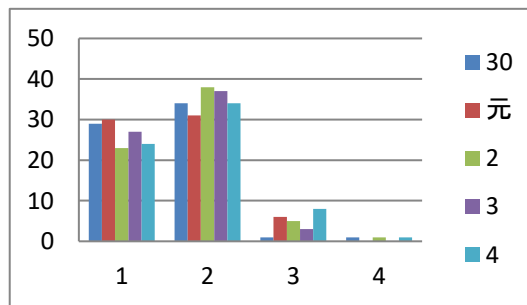
年度	1	2	3	4
30	34	29	2	0
元	38	27	1	1
2	32	33	1	1
3	35	32	0	0
4	34	29	4	0



年度	評価
30	◎
元	◎
2	◎
3	◎
4	◎

2 地域住民の意見やニーズを聞く窓口(機会や姿勢も含む)を設け、公民館の運営に反映するよう努めていますか。

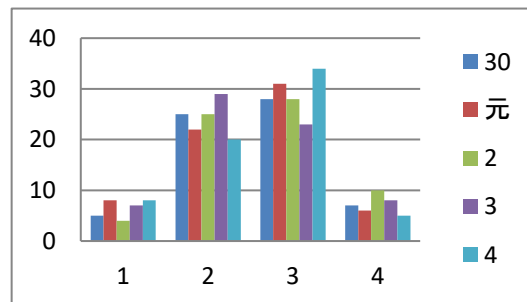
年度	1	2	3	4
30	29	34	1	1
元	30	31	6	0
2	23	38	5	1
3	27	37	3	0
4	24	34	8	1



年度	評価
30	◎
元	◎
2	◎
3	◎
4	◎

3 公民館の講座(事業)等の成果や改善点等について、参加者へアンケートなどを行なって点検・評価を行っていますか。

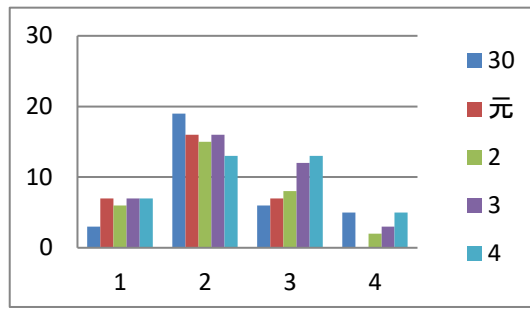
年度	1	2	3	4
30	5	25	28	7
元	8	22	31	6
2	4	25	28	10
3	7	29	23	8
4	8	20	34	5



年度	評価
30	=
元	=
2	=
3	=
4	=

4 上記3でおこなっていると答えた館に質問します。点検・評価の結果を、講座生や地域住民に公表していますか。

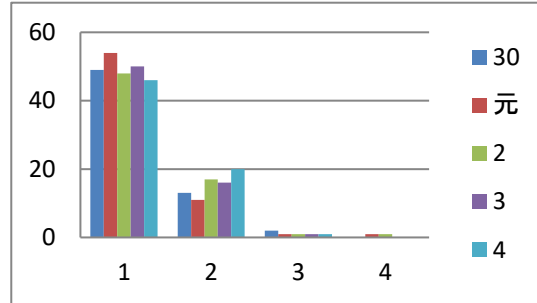
年度	1	2	3	4
30	3	19	6	5
元	7	16	7	0
2	6	15	8	2
3	7	16	12	3
4	7	13	13	5



年度	評価
30	○
元	○
2	○
3	○
4	=

5 日々の接遇及び地域住民からの問い合わせや苦情等への対応が、誠実かつ適切にできていますか。

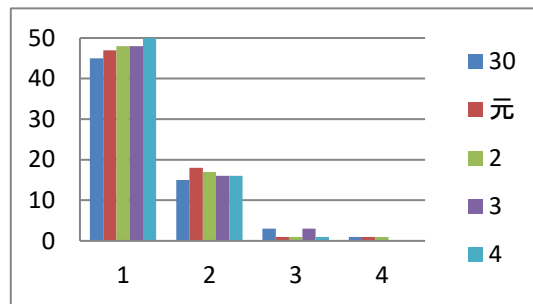
年度	1	2	3	4
30	49	13	2	0
元	54	11	1	1
2	48	17	1	1
3	50	16	1	0
4	46	20	1	0



年度	評価
30	◎
元	◎
2	◎
3	◎
4	◎

6 定期的に施設・設備の安全点検はできていますか。

年度	1	2	3	4
30	45	15	3	1
元	47	18	1	1
2	48	17	1	1
3	48	16	3	0
4	50	16	1	0

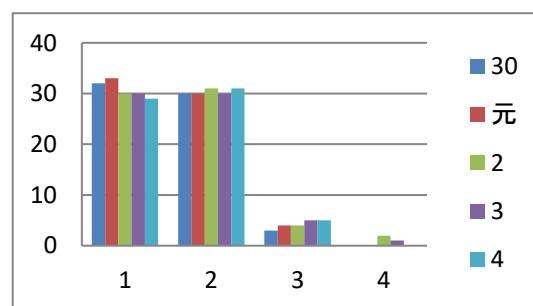


年度	評価
30	◎
元	◎
2	◎
3	◎
4	◎

II つどう

7 住民が公民館に気軽に立ち寄り、交流や情報交換などはできていますか。

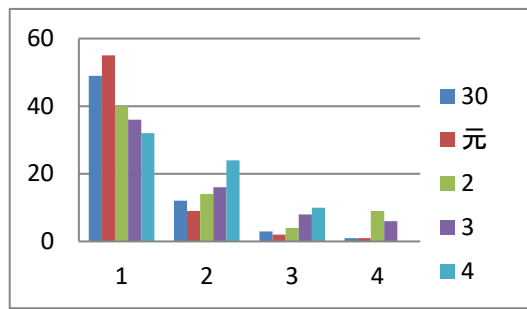
年度	1	2	3	4
30	32	30	3	0
元	33	30	4	0
2	30	31	4	2
3	30	30	5	1
4	29	31	5	0



年度	評価
30	◎
元	◎
2	◎
3	◎
4	◎

8 学習発表会等、地域やブロックで学習成果を発表する機会を提供していますか。

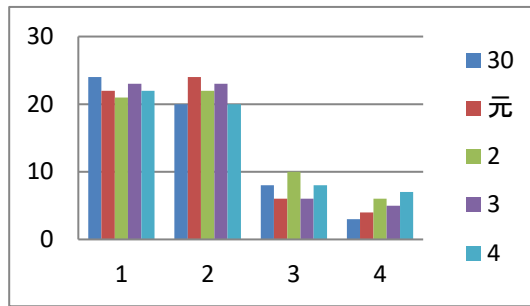
年度	1	2	3	4
30	49	12	3	1
元	55	9	2	1
2	40	14	4	9
3	36	16	8	6
4	32	24	10	0



年度	評価
30	◎
元	◎
2	◎
3	○
4	◎

9 図書室(図書コーナー)は、地域住民が利用活用していますか。

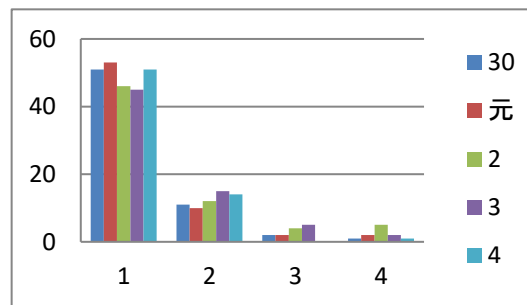
年度	1	2	3	4
30	24	20	8	3
元	22	24	6	4
2	21	22	10	6
3	23	23	6	5
4	22	20	8	7



年度	評価
30	○
元	◎
2	○
3	◎
4	○

10 会議室等は、自治会や婦人会や子ども会などの地域の各種団体の会合等に利用されていますか。

年度	1	2	3	4
30	51	11	2	1
元	53	10	2	2
2	46	12	4	5
3	45	15	5	2
4	51	14	0	1

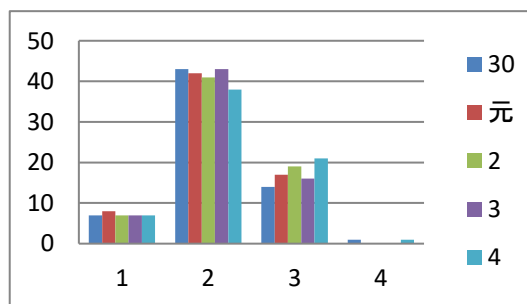


年度	評価
30	◎
元	◎
2	◎
3	◎
4	◎

Ⅲ まなぶ

11 住民のさまざまな学習ニーズを把握できていますか。

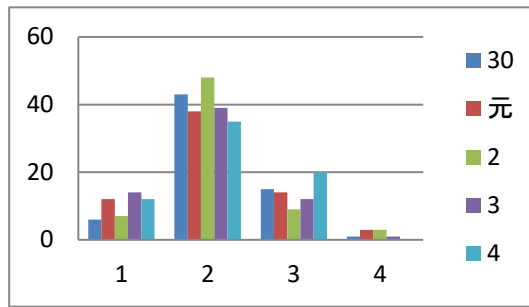
年度	1	2	3	4
30	7	43	14	1
元	8	42	17	0
2	7	41	19	0
3	7	43	16	0
4	7	38	21	1



年度	評価
30	○
元	○
2	○
3	○
4	○

12 教養講座・地域講座において、講座ごとに内容・効果等の具体的な目標を設けていますか。

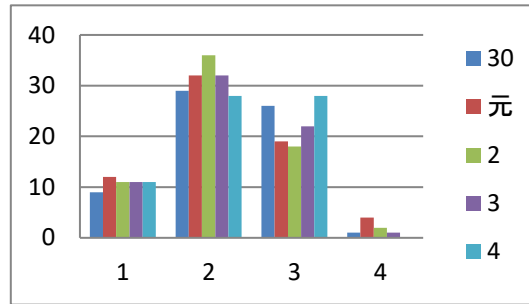
年度	1	2	3	4
30	6	43	15	1
元	12	38	14	3
2	7	48	9	3
3	14	39	12	1
4	12	35	20	0



年度	評価
30	○
元	○
2	○
3	○
4	○

13 文化講座において、講座生と講師と相談しながら講座ごとに内容・効果等の目標を設けていますか。

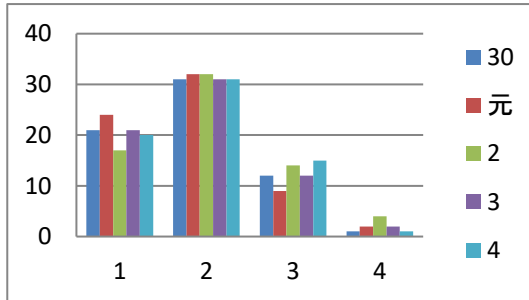
年度	1	2	3	4
30	9	29	26	1
元	12	32	19	4
2	11	36	18	2
3	11	32	22	1
4	11	28	28	0



年度	評価
30	=
元	○
2	○
3	○
4	=

14 公民館の講座や事業の企画・実施・運営に、公民館利用者や地域住民、地域団体〔グループ〕、ボランティア団体等が参画できる機会を設けていますか。

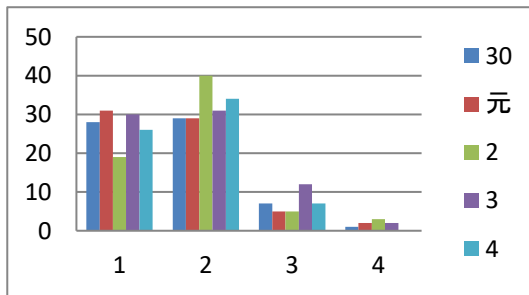
年度	1	2	3	4
30	21	31	12	1
元	24	32	9	2
2	17	32	14	4
3	21	31	12	2
4	20	31	15	1



年度	評価
30	○
元	◎
2	○
3	○
4	○

15 現代生活に関わる課題や地域課題に関する講座を実施していますか。

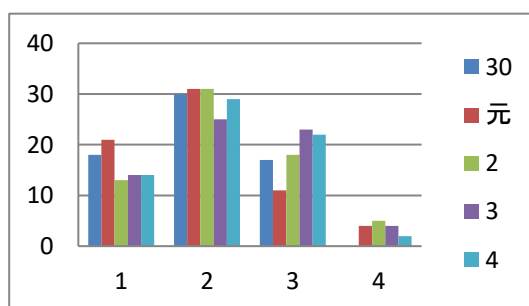
年度	1	2	3	4
30	28	29	7	1
元	31	29	5	2
2	19	40	5	3
3	30	31	12	2
4	26	34	7	0



年度	評価
30	◎
元	◎
2	◎
3	◎
4	◎

16 地域づくり、まちおこし等に関する講座を実施していますか。

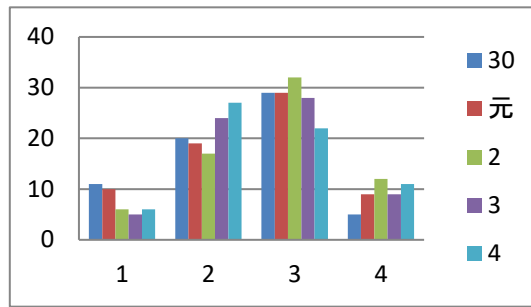
年度	1	2	3	4
30	18	30	17	0
元	21	31	11	4
2	13	31	18	5
3	14	25	23	4
4	14	29	22	2



年度	評価
30	○
元	○
2	○
3	○
4	○

17 公民館または地域におけるリーダーやボランティアを養成する講座や教室を行っていますか。

年度	1	2	3	4
30	11	20	29	5
元	10	19	29	9
2	6	17	32	12
3	5	24	28	9
4	6	27	22	11

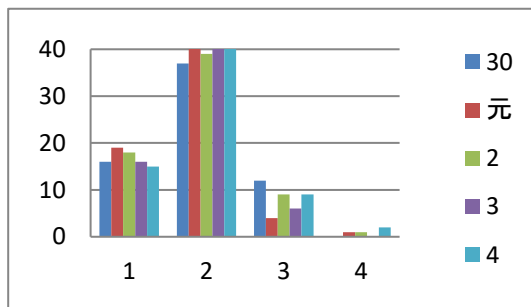


年度	評価
30	▲
元	=
2	=
3	▲
4	=

IV むすぶ

18 「地域づくり」のための課題を把握できていますか。

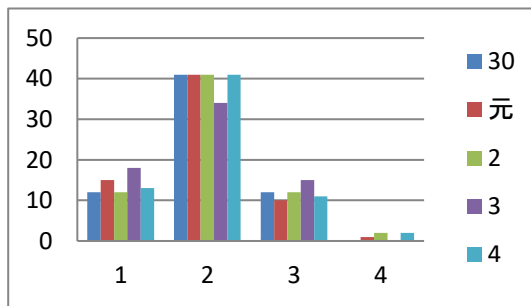
年度	1	2	3	4
30	16	37	12	0
元	19	43	4	1
2	18	39	9	1
3	16	44	6	0
4	15	41	9	2



年度	評価
30	◎
元	◎
2	◎
3	○
4	○

19 講座生や学習グループ、ボランティアグループに対して、情報の提供や相談・助言など、サポートできていますか。

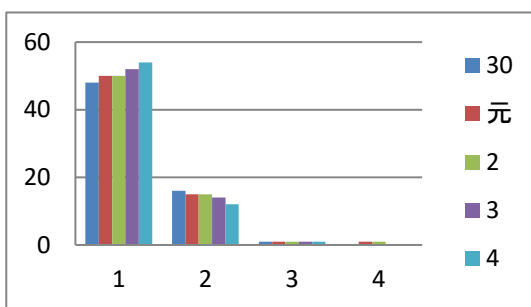
年度	1	2	3	4
30	12	41	12	0
元	15	41	10	1
2	12	41	12	2
3	18	34	15	0
4	13	41	11	2



年度	評価
30	○
元	○
2	○
3	○
4	○

20 講座や事業案内等、地域住民への情報提供に努めていますか。(公民館だよりの発行を含む)。

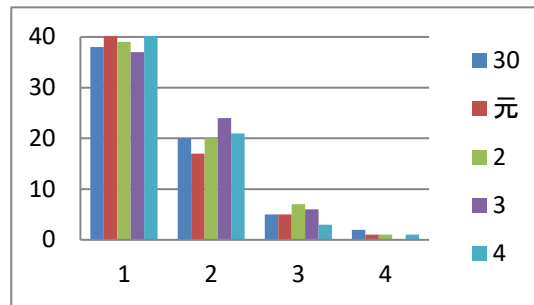
年度	1	2	3	4
30	48	16	1	0
元	50	15	1	1
2	50	15	1	1
3	52	14	1	0
4	54	12	1	0



年度	評価
30	◎
元	◎
2	◎
3	◎
4	◎

21 地域の学校と連携・協力した事業を実施できていますか。

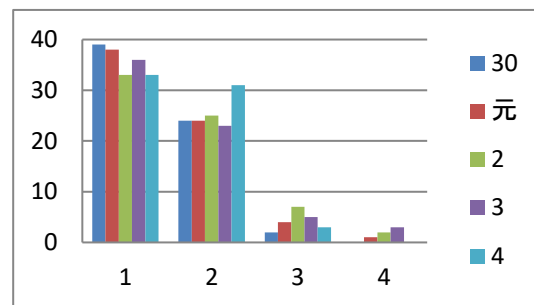
年度	1	2	3	4
30	38	20	5	2
元	44	17	5	1
2	39	20	7	1
3	37	24	6	0
4	42	21	3	1



年度	評価
30	◎
元	◎
2	◎
3	◎
4	◎

22 自治会や婦人会や子ども会などの地域の各種団体等と連携・協力した事業を実施していますか。

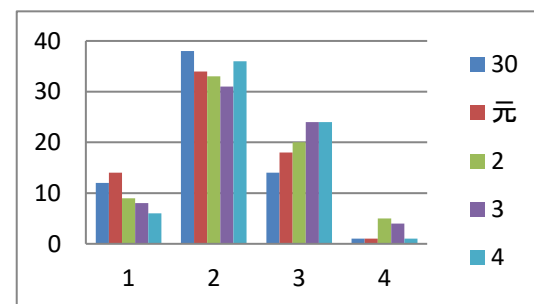
年度	1	2	3	4
30	39	24	2	0
元	38	24	4	1
2	33	25	7	2
3	36	23	5	3
4	33	31	3	0



年度	評価
30	◎
元	◎
2	◎
3	◎
4	◎

23 講座生や学習・地域活動グループ等が相互に交流が図れるような配慮をしていますか。

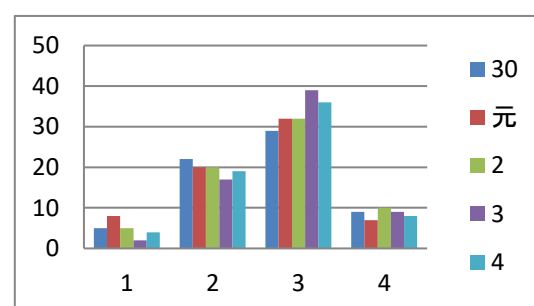
年度	1	2	3	4
30	12	38	14	1
元	14	34	18	1
2	9	33	20	5
3	8	31	24	4
4	6	36	24	1



年度	評価
30	○
元	○
2	○
3	=
4	○

24 講座等の修了者が、公民館活動の指導者・リーダー・サポーター等として活躍する機会がありますか。

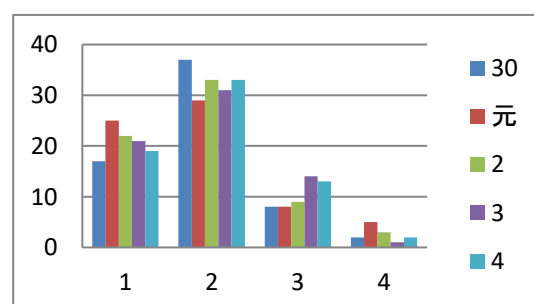
年度	1	2	3	4
30	5	22	29	9
元	8	20	32	7
2	5	20	32	10
3	2	17	39	9
4	4	19	36	8



年度	評価
30	▲
元	=
2	=
3	▲
4	▲

25 公民館をボランティア活動の場として、活用していますか。

年度	1	2	3	4
30	17	37	8	2
元	25	29	8	5
2	22	33	9	3
3	21	31	14	1
4	19	33	13	2



年度	評価
30	◎
元	◎
2	◎
3	○
4	○

- ◆ 公民館活動について、自らが目標とすることを記入してください。(※中長期的な視点や数値的な目標があれば、あわせて記入してください)

ア 数値目標を設定したもの

- 利用者が減少傾向にあり、地域住民に多数利用していただきたい。ブロックで上位の利用者を確保したい。
- 出来るだけ沢山の人に、公民館を利用して頂くこと。
- 文化講座生の数を5年間で5講座増やし、25講座とする。地域講座の数を3年間で3講座増やして、8講座とする。公民館利用者数を年々、増加していく。(小中学生の利用者数を増やす)
- 文化講座の講座数や講座生が増えることが公民館の活性化につながると考えているので前年度より、入館者数の1割り増を目指す。
- 公民館利用者数が前年を下回らないように努力する。
- 教養講座への参加者を30名程度確保する。
- 年間利用者10,000人の早期達成。

イ 住民参加や地域づくりに関する目標を設定したもの

- 地域の方々の生きがいつくりに貢献すること。
- 地域の方々に社会教育・生涯学習の場として様々な機会を設け、より多くの方に参加していただき、活力ある生き生きとした生活を送ってもらえる気軽に立ち寄ってもらえる公民館であることを目指す。
- 地域の情報も発信しながら、自治会、各種団体、学校との連携を図る。地域住民のコミュニティの場としてさらに発展できる活動していきたい。
- 「公民館は地域のコミュニティーセンター」
～町の活性化と将来を見据えて～
 - 1) 自治会、地域活性化実行委員会、後藤又兵衛顕彰会などとの協働
 - 2) こども園、小・中学校との協働
 - 3) 町内の皆さんが来館しやすい公民館づくり
- 地域の課題や地域住民のニーズを的確に把握し、生涯学習や文化活動の機会を提供して行く中で、地域の各種団体との連携を強化し地域づくりの中心的な役割を果たしていく。
- 地域住民が集い、地域の中心的な役割を担うことができればと思う。
- 多くの人に気軽に利用してもらえるような公民館にしたい。
- 住民が活動主体となって生涯学習を実現する施設として、公民館を考えています。また、地域の方々が自由に話し合える場を提供することを目指す。
- 公民館開設60周年を迎えた。この機会を捉えて周年事業を実施し、地域の方々にとってより身近な公民館にしていきたい。
- たくさんの方が集う行事を連合自治会と協力して実施してきたが、コロナ対応で3年間のブランクが発生しています。地域のふれあいイベント等を次年度再開に向けて公民館便りをとおしてPRしていきたい。

- 地域や市の情報を発信し、地域を支える拠点とする。学習や文化活動を通して地域住民や受講者の相互交流を推進し、地域の活性化をはかる。
- 地域住民の楽しみ、学びの場。興味のあることに楽しく取り組み、日々の生活を豊かにする場。
- 公民館運営で目差すところは、老若男女あらゆる年代層が活動を通して個々の生活文化を高めるとともに、交流を通して心身の健康を増進することである。さらに、公民館だよりや掲示物等で情報を発信し、地域コミュニティの質的向上を図る事である。
- 地域住民が気軽に立ち寄れる公民館。
- これからの公民館活動は、文化講座に加え、各公民館の「サポートボランティア」講師による「ボランティア講座や教室」を少しずつ増やし、地域の教育力向上の一翼を、地域住民自らが担っていくような協力体制を構築していくことが大切になってくると考えている。
- 魅力ある講座の中で、地域住民が集い、学び、結ばれ、地域に住んで良かったとの思いが育つ公民館。
- 自分の「学び」「健康」のために0歳から100歳を越える人が集う(三世代交流)公民館でありたい。地域に関わる協議会とより連携をとりあい、地域活動の充実や地域づくりに貢献していきたい。
- 当校区は、隣接する校区の境界であるため、両方の住民の方が生活の基盤とされている。住居も先祖代々の方々や住宅開発により新しく住居を構えられた方々など千差万別。世代も違うしその人たちにとって、公民館は集いの場で有ったりコミュニティの場で有ったり、人と人が関わり合得る場所を提供していきたい。
- 地域の中の公民館として地域コミュニティの中心の一つとなる公民館でありたい。公民館の情報を公民館だよりなどで発信して、「開かれた公民館」を目指していきたい。
- 小さな子ども、青少年やミドル世代、シニア世代まで、各世代の地域住民が集い、学び、ふれあえる公民館運営をする。
- 地域に根付いた公民館を目指していきたい。幅広い年齢層の公民館利用者を増やしていきたいと考えている。
- 入館者数を増やすことを一番の目標にしている。使っていただいてこそ公民館の使命を果たせるものと思っている。そのために、地域住民のニーズを把握し、それに応えられるような講座・イベントを計画するとともに自治会・各種団体と連携を図り、様々な要望に対応していく。
- 地域住民や公民館利用者が実際生活に活かせる事業を行う中で、少しでも生活が豊かになることを願っている。そのためには住民のさまざまな学習ニーズや地域の課題を把握し、学習の場の提供ならびに地域の拠点となれるような交流づくりに取り組む。
- 地域の方が気軽に利用できる、講座の計画、雰囲気づくり。
- 自治会等の各種団体と連携し、地域課題や住民のニーズの把握に努めて地域に親しまれる利用しやすい公民館としたい。
- 身近な生涯学習の拠点として地域住民の多くの方が利用できていること。また、地域住民の仲間づくり、絆づくりができる交流の場となっていること。
- 地域への情報発信の場としていくとともに、地域の拠点としての役割を十分に果たしたい。
- 地域活動、生涯学習の拠点として、誰もが気軽に立ち寄れ、利用できる公民館。
- 地域に貢献できる公民館を目指したい。
- 地域住民が気軽に集い、結束を深める場となるよう情報発信に努める。
- 地域全体の社会教育・生涯学習の拠点施設となる館運営を目標としている。
- 地域の方々に気軽に利用していただき、親しまれる公民館に、そして、地域との連携を密にし、公民館が地域活動の拠点となることを目標としている。

- 公民館には地域の方々が、多く来館されて日々活動されている。ただ来館される方が高齢化されていることが懸念される。当館は、ゆったりとした広場を館の前面に有し、施設としても広い図書室や軽運動室が併設されております。今後とも地域のあらゆる世代に働きかけ更なる当館の活用・有効利用を計っていききたい。
- 地域に愛され必要とされる公民館活動。
- 地域の生涯学習施設として、また、地域交流の拠点施設として、様々な地域の団体との連携をとりながら、豊かな老後生活を送っていただくため、多くの方に利用いただくこと。
- 姫路市との合併15年を経て、人口が約2割弱減少している地域であり、音楽鑑賞できる公民館講座を増やし、音楽で町おこしできるように、公民館活動をしていきたいと考えてる。
- 地域密着型の公民館。
- コミュニティの核としての使命を果たすこと。一層の周知に努め、気軽に利用できる環境を整備すること。
- 地域づくりの拠点としての公民館にする。また住民が気軽に集まり意見交換の場づくりをめざす。
- ①地域コミュニティの中心的な役割を果たし、地域住民の生涯学習の場を提供する公民館を目指す。②地域の繋がりを目指し地域の各種団体との連携を図る。(特に学社連携の強化を図る。)

ウ 館の雰囲気づくりや心がけに関する目標を設定したもの

- ①明るく、気持ちよく、お客様(利用者)が幸せを感じる公民館！②公民館活動の活性化 → 利用者が高齢化し従来型公民館活動が衰退傾向にあるなか、子どもから高齢者まで多世代が利用公民館活動の再構築。
- 来館される方が、又、利用したいと思っていただける、運営。(清掃、企画、展示)
- 住民の方々に、楽しいな、良かったね、また行こう と思ってもらえる集いの場になればいいのには思っている。
- 新型コロナ対策として、来館前の検温・手洗い・手指の消毒はほぼ定着しているが、若干の気の緩みを感じられる。今後とも公民館でやるべきこと・出来ることは実施して行きたい。大規模改修工事に向けての要望事項の抽出・物品の整理等を行っていききたい。
- 安全安心な公民館運営に努める。「敷居の低い公民館」を目指して、挨拶、環境整備、来館者や講座生との人間関係を醸成すると共に、みんなで創り上げる公民館活動の活性化に努める。
- 5年後の公民館をしっかりイメージし、補助員とそのイメージを共有した活動を続ける。日々の活動としては、日々の問題点に目をそらさず、自分たちが出来る改善を継続する。(令和3年度の継続)
- 令和4年度は公民館の役割や実施している事を知ってもらう。

エ 特定の世代を対象に目標設定したもの

- 小学生、中学生などの子どもたちが足を運びやすい公民館。
高齢の講座生も気楽に集える公民館。
- 中学生から40歳代など若者世代の利用率を上げるための工夫と、地域のお年寄りまで幅広い年代層の方々が気軽に足を運んでもらえる公民館にしたいことが目標。
- 高齢者の利用率が高いので、中高年や小中学生が楽しめる様な講座やイベントを増やしていき、高齢者～若者が気軽に来れてふれあい楽しめる公民館にしたい。
- 若い方の(幼児、小中学生)来館しやすい運営、アピール。
- 主に小学生を対象とした「子ども事業」の数を増やし、児童の参加人数を拡大する。開設した講座から講義だけではなく趣味や行動へつながる仕掛けを実践したい。

- 世代間交流&共生。
- 講座生の若返り、小中学生の利用人数を増やす。(参加しやすい講座を増やす)
- 子どもや男性の参加者を増やす取り組みを考える。
- 世代の偏り解消出来るように、啓発活動を促進する。
- できるだけ多くの人に来館してもらいたい。子供たちの来館を促したい。

オ 講座の工夫に関して目標設定したもの

- 老若男女、誰でも気軽に立ち寄って頂く雰囲気づくりと興味を持って頂ける様な講座やイベント企画を作成して、公民館に行けば楽しんで過ごして頂き、何かやりたいことが見つかる様な場所にしていきたい。
- 公民館講座参加者のニーズに合った教養講座、地域講座演目及び演者の見直しを行いたい。一方、文化講座受講生の高齢化が進んでおり、講座の自然消滅が間違いなく発生する。館の利用率を向上させるため夜間休日の講座内容の探索、貸館利用のアピールを検討したい。
- 新しい講座の開設・公民館の環境作り。
- 身体を動かして脳トレや認知症予防につなげ心身ともに健康にしてあげたい。・年配の方を含め姿勢が気になります。猫背や腰痛等も含め姿勢改善の手助けをしたい。現在それらの講座を二つ新設し好評を得ている。
- 来年度の講座計画を作成する参考資料として、12月末までにアンケート調査の実施を考えている。よりニーズに合った計画作成の根拠資料としたい。
- 生涯施設であるので、高齢の方はもちろん、乳幼児、小学生が参加できるメニューを企画していく。